平成26年度事務事業評価シート	該当事業（評価対象外事業は基本情報のみ記載）		
	一般事務	公共建設事業	評価対象外事業

事務事業名	森林そ生緊急対策事業
予算科目	6 款　2 項　2 目
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 林業の振興
所管課情報	担当課：　農林水産課　電話番号（内線）：　579
記入者情報	所属長：　亀岡 泰三　担当責任者：　福積 和富
事業の性格	法定事務
実施期間	【開始年度】 平成 21 年度 【開始年度】設定なし
事業の対象	林業・木材産業等事業者
根拠法令等	森林そ生緊急対策事業費補助金交付要綱
事業の目的	輸入木材に対抗できる効率的な国産材の生産体制を確立し、内需振興型産業である林業・木材産業の再生を図る。
事業の内容	輸入木材に対抗できる効率的な国産材の生産体制を確立し、内需振興型産業である林業・木材産業の再生を図るため林業機械の導入や製材施設の整備等補助を行う。
改善策の具体的取り組み（当初）	
改善策の具体的取り組み	

事業費及び財源内訳

項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	21,050	24,350	0	24,350
	人件費	1,627	1,590	795	1,590
	合計	0	25,940	795	25,940
人件費内訳	人工数	0.20	0.20	0.10	0.20
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,627	1,590	795	1,590
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	22,677	25,940	795	25,940

事業活動の実績（活動指標）

項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
間伐材加工量	㎥	10000	10000	9000	12849
素材生産量	㎥	10000	10000	9000	12326

向こう5年間の直接事業費の推移

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	250,000

成果指標				
成果指標	（当該年度の間伐材加工量＋素材生産量）／（昨年度の間伐材加工量＋素材生産量）×100			
指標設定の考え方	昨年度の間伐材加工量＋素材生産量と比較すことで当該年度の林業機械の導入や製材機械による事業効果を測る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目　標	100%	100%	100%	0
実　績	100%以上	100%以上	0	0

自己評価				
自己評価（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	概ね計画通りに事業が実施できた。今後も、機械等の導入について関係者と協議を行いながら事業を行う。			

一次評価				
一次評価（所属長）	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本年度事業については、市内2製材業者に製材製品の付加価値を高める目的で木材製材施設装置の導入を行い、事業成果が十分に見られ引き続き事業を展開する必要がある。			

二次評価	
二次評価（所属部長）	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申	
外部評価 （行政評価委員会）	

経営者会議の最終判断	
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	